



しばらくして無沙汰してしまった時に、突然その知らせは届きました。買い物から帰る途中、車にはねられたとの事。連絡を受けてすぐ会社に行っただけで、全く無傷で、まるで眠っているようだったことを覚えていますが。あんなに泣いたことは、それまでも、その後も記憶にありません。まだまだ元気でいて欲しかった。ヒロシと一緒に親孝行したかったです。

ヒロシは、立派になりましたよ。今や社長です。素敵な奥さんにとっても優秀な子供達と一緒に幸せな家庭を築いています。僕はサラリーマンですけど真面目にやっています。うちの息子は、ヒロシの家入いつもお泊りです。赤みその味噌汁を飲ませてもらっています。あの頃の僕らと同じように。空の上から見守っていてくれたらね。

リクエスト曲 ( 手紙 / Back number )

※サーバーに入っています